

9月定例議会の報告

日本共産党丹波市会議員団

9月定例議会は、9月9日招集され28日までの20日間の日程で開かれました。

9月議会では、**など条例の制定や改正、一般会計・各特別会計補正予算など審議**しました。

また、代表質問には、**西本議員、一般質問は、広瀬議員が行いました。**

また、08年度の各会計決算は、6月議会で総括質問を行い、具体的な審議は特別委員会において閉会中の審議になります。

予防ワクチン接種費用の「負担軽減を検討する」と答弁！

9月議会の代表質問で、今月に入って、市内の小中学校で、**新型インフルエンザの集団感染の拡大している問題で、西本議員は、住民の不安を取り除く新型インフルエンザ対策を充実すること**を求めました。

・感染経路や感染の実態をつかみ、住民への正確な情報を伝えること。

・相談窓口やセンターの開設すること。

・一般病院での「簡易検査」の実施。

・**新型インフルエンザ用のワクチン問題で、特に、その費用負担について接種を受けた患者や保護者から実費相当を徴収することを決めています。**接種は2回で、負担額は6000円強となる見通しです。この費用負担について、当面、市独自でも低所得者の負担軽減を検討すべきだと追及しました。

辻市長は、**相談窓口は、県健康福祉事務所**で、**専門職が24時間対応し、市は、必要に応じ開設**します。**簡易検査は、一般病院や診療所で実施**しています。**ワクチン接種費用の負担軽減は、国等の動向を見ながら市も検討**します。と答えました。

(問)国保税と医療機関の一部負担金の「減免」制度を加入者に周知徹底し、活用を広げべき。また、**国保税滞納者の「申請却下」を削除**せよ。

(答)両制度の周知は納税相談や保険証更新時のパンフレットで啓発します。一部負担金の国保税滞納者の「申請却下」は、**国保事業の健全運営のため協力を願います。**

燃えるごみ袋の料金の引下げと「ごみ減量化」対策について

燃えるごみ袋の料金が、近隣の自治体と比較して大幅に高くなっているがその理由は何か。

市民の負担を若干でも減らし、くらしに役立て消費拡大につなげていくために、近隣の他市並みに半額程度に引き下げざるを得ないか。

(*)燃えるごみ袋の料金は近隣市と比較しても異常に高い、なぜか。

*市民の負担軽減のためにも、近隣市並みに半額程度に引き下げよう求める。

*更なるリサイクル化と生ごみの堆肥化で、「ごみ」の減量化を。

(答)○丹波市の料金設定は、ごみの「減量化」と「資源化」にある。

○有料化は「有効」で、現行料金を継続していく。

*印は、市のクリーンセンターで購入した場合

2008.10.1現在(単位円/1枚)

丹波市議会 日本共産党議員団調べ

近隣市町の「指定」ごみ袋料金の比較一覧

市町名	大袋 (45ℓ)	中袋 (30ℓ)	小袋 (20ℓ)
丹波市	100	70	40
朝来市	80	—	50
篠山市	45	—	40
福知山市	40	30	15
西脇市	35	25	15
加東市	30	20	—
三田市	*15	—	*11
多可町	35	25	15

市会ニュース
 2009年10月18日 第26号 日本共産党丹波市会議員団
 連絡先 丹波市柏原町柏原 電話 0795 (72) 1241